

平成29年度 山形西高等学校「教養講演会」

10月3日（火）、「教養講演会」を実施しました。この講演会は、県教育委員会主催「山形の未来をひらく教育推進事業」の一環として生徒のキャリア形成に資することを目的に毎年行われているものです。様々な分野で活躍されている著名な方から直接お話を伺えるとても有意義な講演会です。

今年度は、聖路加国際病院顧問で小児科医としてご活躍の 細谷亮太氏を講師にお迎えし、「『いのち』について～小児科医の思い～」のテーマでご講演をいただきました。会場には、保護者、近隣の学校関係者、本校学校評議員の方々なども参加していただきました。

講演では、小児科医として小児がんを専門に研究・治療に当たってこられた細谷先生の長年の経験を元に、命の意味や命の大切さなど、言葉では言い表せない気持ちを学ばせていただきました。病気で長くは生きられない子どもが、どう生きるかを自分で考え決断し、父や母に感謝して人生を閉じる。「人生とは、長さではなく、どう生きるかだ」という細谷先生の言葉が胸にしみ、見送る父や母の切ない思いも、痛いほど伝わってきました。

医療が発展し、若くして死ななくても済む時代となり、私たちは、人の命とはどんなものか実感できなくなっています。また、治療により命はつながったものの当たり前の生活すらできない苦しみを抱える人も増えているという現実にもあらためて気づかされました。

医療分野を志す生徒だけでなく、これから社会人として、あるいは親として生きていく生徒たちは、どんなことを感じ取ってくれたらどうか。きっと今日の細谷先生の講演が皆さんを一回り成長させる糧になったものと確信しています。細谷亮太先生にあらためて感謝申し上げます。



語りかけるような口調の細谷亮太氏

生徒から地域医療について質問が